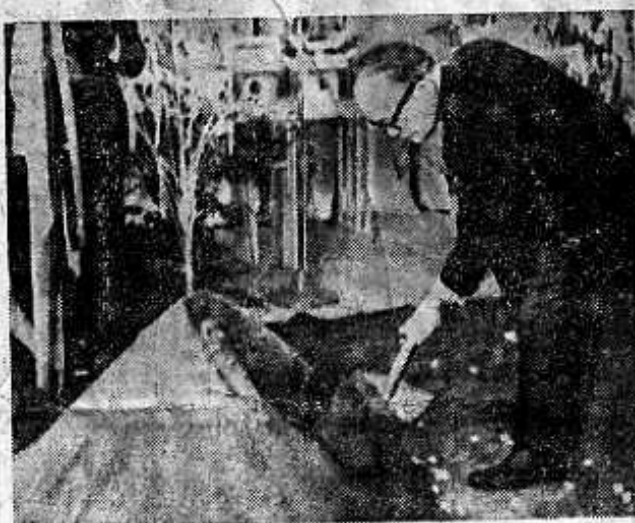


頭脳基地へ門出

筑波学園都市の起工式



【土浦】筑波学園都市の起工式が六日午後一時から東京教育大の建設敷地に予定されていた。同県筑波郡大塚町で坪川建設相、林日本住居公団社長、岩上副知事らが出席して行われた。建設用地のうち約九〇%の買収を終え、十六日都市の建設事務に着手しよう、というが準備した日本住宅公団や茨城県のほかに、坪川建設相らがクワ入れなどなると、用地取得に協力した地元地主の側面者約十人が、日本の頭脳基地の建設を祝った。

新都市建設を折ってクワ入れをする坪川建設相
茨城県筑波郡大塚町で

11/15 朝日

筑波新大学

調査会が本決り

21日から具体案練る

筑波研究学園都市に移転する東京教育大を母体とした新大学づくりの具体案を練るため、文部省は「筑波新大学創設準備調査会」を設けることが、十四日日本決りとなつた。

調査会には筑波研究学園都市の理事長（東京教育大）と、東京教育大の理事十一人と文部省側五人の計十六人が組織される。二十一日の初会合活動には、新大学の性格と組織、教育研究と管理運営のあり方、施設整備計画について検討し、四十七年度末までに調査案

がない。従って調査会では、新大学の教育研究と管理運営のあり方などについて、活発な議論がかわされそうだ。

栗田氏のほか、文部省側委員は次の通り。

坪川正一（東京教育大教授）▽大島清（同）▽福田信之（同）▽磯村英一（東京大学長）▽所合京一郎（東京医科歯科大学長）▽川上正光（東京工大教授）▽小塚新一郎（東京工大教授）▽新堀雄也（東京工大教授）▽林建二（東京工大教授）▽百村忠（埼玉大助教授）▽大島清（同）

11委員きままる

筑波新大学 創設準備調査会

筑波研究学園都市の起工式が六日午後一時から東京教育大の建設敷地に予定されていたが十四日、都立委員の出席を待たず、調査会の発足式が二十一日の第二回会合で正式に開催される。

さしあたり検討の材料となるのは、東京教育大マスタープラン委員会が七月にまとめた新大学構想。これに、中教審が今後まとめる大学改革の中間報告や、自民党新構想大学創設会の試案などともからめて、新大学の性格と組織の

教育研究のあり方管理運営のあり方、施設や生活環境などの整備計画、などをまとめる。

○筑波新大学創設準備調査会委員

▽磯村英一・東京大学長▽落合京一郎・東京医科歯科大学長▽川上正光・東京工大教授▽小塚新一郎・東京工大教授▽大島清・東京工大教授▽福田信之（同）▽磯村英一・東京大学長▽大島清・東京工大教授▽林建二・東京工大教授▽百村忠・埼玉大助教授▽浅川正一・東京教育大教授▽大島清・同

11/15 毎日

11/15 日本経済

筑波新大学具体化へ

文部省が創設準備調査会

文部省は「筑波新大学」に次、新構想大学の第二弾として、筑波研究学園都市の新しい大学づくりを具体的に検討するための十四日、筑波新大学創設準備調査会を組織させることを決めた。調査会は坪川建設相を中心とする。調査会には田山田信之東京教育大教授ら十一人の学識経験者の参加を求めて二十一日に初会合を開き、東京教育大の移転構想を母体としながら三十一

世紀に対応する新大学の教育研究を推進する。移転後の新しい大学のあり方について東京教育大がすでにマスタープラン委員会（委員長・福田信之）を中心に人文、社会、自然科学だけでなく巨大科学や境界領域を加えた新総合大学とする。調査会では、調査会を分科する。調査会を分科する。調査会を分科する。

調査会は二十一日に初会合を開き、来月四月からは特別の専門事項について検討するため小委員会を設ける。組織を秋大、四十五年度中に新大学の教育研究をまとめる。文部省としてはこの教育研究をもとに出来れば四十六年にも一部開校し、四十八年度には開校にこ

有識者をそろえた。

調査会は二十一日に初会合を開き、来月四月からは特別の専門事項について検討するため小委員会を設ける。組織を秋大、四十五年度中に新大学の教育研究をまとめる。文部省としてはこの教育研究をもとに出来れば四十六年にも一部開校し、四十八年度には開校にこ